

お祭りマスター

目指せ！お祭りマスター！
スキルアップのイベント開催！

わたがし フワッ!と
クック!と綿菓子
クルッ!とバルーンアート
ガチャッ!と缶バッジ

そんな職人さん(マイスター)が地域にいれば祭りの人気者です!
あなたも「認定お祭りマイスター」になって地域を盛り上げましょう!

ワークショップ
同時刻一斉に開催

講座内容は全て同じです。ご都合の良い日程にお申し込みください。

参加費 一人につき **500円**
小学生(低・中学年)無料
材料費込み

2016年 WS 日程

5月26日(木) 〈第1部〉 14:00~15:30 〈第2部〉 19:00~20:30	6月25日(土) 〈第1部〉 10:30~12:00 〈第2部〉 14:00~15:30
---	---

同時刻内であれば、1回分の参加費で複数のWSにご参加いただけます。

認定式交流会 **7月9日(土)** 10:30~12:00

お申込 申込条件など詳しくは、当センターに設置のチラシもしくは、HPをご覧ください。
※お気軽にお問い合わせください。担当：澤

センターからのお知らせ

◎センター休館のお知らせ **5月3日(火)~5日(木)**
※会議室のご予約は、通常の開館日をお願いします。

ちよこつと編集後記.....
お祭りマイスター育成に向けて、バルーンアートに挑戦中です。でも、風船をねじる時はおっかなびっくりです…。【S】

松阪発信! 市民活動の情報紙 **アロマ** 次号は2016年6月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2016年5月31日(火)です。担当/澤

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用	会議室	機材等
	大会議室.....机10 椅子30 (610円) 小会議室1...机4 椅子12 (160円) 小会議室2...机6 椅子18 (210円) 小会議室3...机4 椅子12 (160円) 料金1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室.....机8 椅子24 (410円)	印刷機(紙持込) / コピー機 マイク / プロジェクター 他 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
<http://www.katsudou.com>
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室予約の確認など)
<http://matsusaka.genki365.jp>



アクセス

松阪発信! 市民活動の情報紙

発行 松阪市市民活動センター

AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity

TEL 0598-25-3801
0598-26-0108

FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.64

編集者 "E" の ちょっと気になる **団体**
今号は... 松阪HHG CLUB さんです



最 近、松阪市内を歩く外国人観光客を目にする機会が増えた。5月に開かれる伊勢志摩サミット、2020年の東京オリンピック開催控え、日本を訪れる外国人観光客はさらなる増加が予想される。そんななか「外国の方に心からのおもてなしを行い、松阪の魅力を世界へ発信したい」と活動するのが加藤庸二(かとうようじ)さんが会長を務める松阪HHG CLUBだ。HHGとは「ハートフル・ホスピタリティ・ガイド」の頭文字をとったもの。2013年、松阪市観光協会が通訳ボランティアを公募した際、集まったメンバーの有志が同団体を結成した。現在は15名の通訳ボランティアガイドが活躍している。市内在住の50~60代が中心で「海外赴任での経験を生かしたボランティアがしたい」など、退職後に自身の人生経験や語学力を生かして地域づくりに関わりたいという人が多いそうだ。

2 つめは、市内在住の外国人への通訳ボランティアガイドだ。市内在住の外国人は年々増えているが、松阪がどんな街が知らない人も多い。この取り組みの利用者の多くは、ALT(外国語指導助手)など仕事で松阪に来た外国人だそうだ。3つめは、市民・事業者対象の英語講習会の実施だ。市内には外国人が訪れたときに英語で対応できる店や施設がまだ多くない。講習会では、英語での基本的な挨拶、道案内をはじめとした日常会話を教えている。

他 にも、市主催の勉強会で講師を担うほか、直接企業へ出向くこともあり、ホテル・レストラン・お土産店など業種やサービスの形態にあった英語でのコミュニケーションのとり方を実践的に伝えている。昨年度までで81名の外国人が利用し、ガイド実績はゆるやかに右上がりが増加し続けている。外国人を心からもてなし、松阪の魅力を伝える同団体の活動は、世界と松阪をつなぐ架け橋として今後も注目を集めそうだ。

主 な活動は3つ。まずは外国人観光をサポートする通訳ボランティアガイドだ。「松阪ガイドボランティア友の会(※)」にも在籍するメンバーを中心に、外国人向けのガイドコースのシナリオを作り、市内の見どころを案内している。この取り組みでは、ガイド自身が松阪の歴史文化を学び、理解を深めてから通訳することを大切にしている。利用者の要望に応じて、松阪木綿の着物を着た街歩き、手織り体験などを取り入れることもある。昨秋案内したアメリカ人女性は「歓迎の気持ちが伝わり、ガイドの情熱を感じた」と心から喜ばれたそうだ。

(※) 松阪ガイドボランティア友の会とは...
主に日本人観光客に、松阪の偉人「本居宣長」や、豪商として名を馳せた「松阪商人」ゆかりの地を案内するボランティアガイド。

英語で松阪の観光ガイドをしてほしい!
外国人対象の観光ガイドは、下記の松阪市観光協会ホームページで受け付けています。※3日前までにお申し込みください。
<http://www.matsusaka-kanko.com/eng-guide/>

通訳ボランティアガイドを試してみたい!
英検2級レベルの実力があり、その力を通訳ボランティアとして活かしたい方は下記までご連絡ください。

お問合せ 松阪HHG CLUB 090-2619-4340 (奥野さん)

熊本地震への 義援金を 受付けています。

4月14日と16日に震度7が観測された熊本県の地震。震度5以上の余震が断続的に続きライフラインが断たれるなど、現地の状況が明らかになるにつれ、その被害の大きさに胸が締めつけられる思いです。当センターでは、現時点で、この地域からできる被災地支援として義援金を募っています。本号が発行される頃には、被災地域への支援物資の供給、他地域からのボランティア受入などが可能になっていることを祈るばかりです。一日も早く復興されることを心よりお祈りいたします。

地元小学校とも連携して訓練実施

【報告】松阪中心市街地の合同防災訓練が行われました



3月9日、当センター所在地でもあるカリヨンプラザを中心とした合同避難訓練が行われました。今回の訓練では近隣の小学校とも連携し、児童約70名が訓練に参加してくれました。地震発生時に「ガラスの近くから離れる」、「身近な物で頭上を守る」、「津波到達前に高台に避難する」など、市街地での身の守り方について、松阪地区広域消防組合の防災訓練センター職員が児童に呼びかけました。



訓練後には当センター会議室にて、聴覚障がい者に情報を伝えるために最低限必要な手話や負傷者の搬送方法など、災害時に自力避難が困難な災害弱者への具体的なサポートについて学びました。今後もこうした訓練に積極的に参加し、非常時に必要な知識や対応方法を身につけ、少しでも冷静な判断と行動がとれるよう努めたいと思います。

センター運営を見届けていただきます

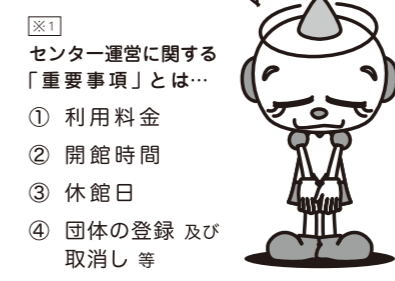
平成28年度 松阪市市民活動センター運営委員のご紹介

今年度、1年間、当センターの運営にアドバイスをいただく松阪市市民活動センター運営委員の皆さまをご紹介します。センター運営委員会は、自主参画に賛同していただいた当センターの登録団体と、市の担当所轄職員を含む15名以内で構成されます。

委員の皆様には、センター運営に関する重要事項(※1)について承認やアドバイスをいただきます。1年間よろしくお願いたします。

(登録番号順).....

松阪市自治会連合会	山本 勝之さん
松阪南勢テニス協会	松田 佳浩さん
伊勢平氏研究会	倉田 正義さん
松浦武四郎記念館友の会	飯田 秀さん
松阪手づくり甲冑愛好会	長野 操さん
ハーモニカ愛好会	森 年秋さん
手話で話そう	福田 倫恵さん
日本赤十字社三重県支部 松阪市地域奉仕団	松田 貴さん
NPO法人 三重スポーツサポートアカデミー	前川雄一郎さん
松阪市 経営企画部 地域づくり応援室(室長)	伊藤 由里さん



「伝える」と「伝わる」の違いを体感

【報告】～話し上手は聞き上手～ 団体をアピールしてみよう! 開催



3月5日、当センターの登録団体向けに「～話し上手は聞き上手～ 団体をアピールしてみよう!」を実施しました。市民活動団体にとって、イベントの告知や活動報告なども含め自団体をアピールすることは大切です。ただ、思いが強すぎるあまり情報を一方的に伝えてしまうケースが多いのも事実です。そこで今回、一方的に「伝える」ことと、相手に「伝わる」ことの違いを体感してもらえるようワークショップ形式で交流の場を設けました。参加団体には、一方通行のアピールにならないように相手に情報を届ける意識と、そのための準備として情報収集することの大切さを感じ取ってもらえたようです。今後も、当センターでは情報発信にまつわる講座、交流会を企画し、情報紙AROMAのほか、HP、ブログ、SNSなどで皆さんにお知らせします。こうした情報を収集して自団体のアピールに活かしてくださいね。

削って磨く 大人もハマる人気講座

【報告】おススメ講座 Vol.7 ～原始・古代を楽しく学ぶ～ 勾玉作り体験講座開催



3月5日、当センターのおススメ講座(Vol.7)として「～原始・古代を楽しく学ぶ～ 勾玉(まがたま)作り体験講座」を実施しました。市の文化財センター職員が講師を務め、講座前半はこの地域でも出土した装身具、勾玉について学びました。勾玉が作られた理由は、動物の牙をかたどったとする説や、胎児の形を表しているという説など諸説ありますが、総じて“古代のアクセサリー”だという解説に参加者も納得した様子でした。後半はいよいよ勾玉作り。ヤスリやサンドペーパーなどを使い、およそ5cm四方の石から勾玉の形を削り出していきました。参加者からは「子どもでも楽しめるだろうけど、大人の方が凝りそう」という意見もあり、職人気質の大人にも人気の講座となりました。

「でんきを消してスローな夜を」が合言葉

【告知】松阪市市民活動センターキャンドルナイト2016開催

少し早いですが、夏至に実施するミニイベントの告知です。当センターでは、下記の日程で「松阪市市民活動センター キャンドルナイト2016」を実施します。この取り組みは、環境省の推進する「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」や、「でんきを消してスローな夜を」を合言葉に全国的な広がりを見せる「100万人のキャンドルナイト」に賛同して実施しています。当センターでは、ラウンジのみ消灯のささやかな規模ですが、私たちを取り巻く環境について考えるきっかけとなれば嬉しく思います。



市民活動用語解説コーナー「いまさら聞けない!? あのコトバこのコトバ」は、不定期で更新させていただくことになりました。このコーナーで解説してほしい市民活動に関する言葉があれば、松阪市市民活動センターの【澤】までお気軽にご連絡ください。